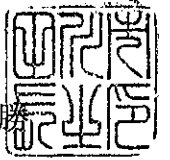




田土管第 96号
平成19年5月8日

国土交通省道路局長 殿

田川市長 伊藤 信勝
(建設経済部土木課)



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について

貴職におかれましては、平素より本市の土木行政にご理解とご尽力をいただき厚く御礼を申し上げます。

さて、標記のことについて、今後の道路政策や道路の整備・管理に関して、別紙のとおり本市の要望、意見等を提出させて頂きたいと存じますので、中期計画の作成に反映願いますようよろしくお願い申し上げます。

中期的な計画作成にあたっての意見

今後の道路政策や整備・管理について

- ・ 田川市の施策として企業誘致を優先しているが、工業団地内企業に出入りする車両が一般生活道路を走行している現状であるので、産業振興する上で工業団地と幹線道路を結ぶ道路の整備が重要である。
- ・ 田川市郡の観光開発とともに、アジアに向けた国際交流、文化交流、スポーツ交流等の事業を進めていくため、中心市街地と幹線道路を結ぶ道路整備が必要である。
- ・ 国際化に即応した道路標識の整備が必要である。
- ・ 国道、県道、市道等がすべて効率的に機能するために一体的な整備が必要である。
- ・ 高速道路がない都市については、それに替わる高規格道路の整備が必要である。
- ・ 道路は生活のための命綱であるので、生活道路の確保及び維持管理費の確保が必要であるが、地方交付税の総額も減額されるなど十分な財源の確保がなされていない。
- ・ 道路建設は国が行い、維持管理は地方交付税に算入し地方に任せる方針に切り替える必要があるのではないか。
- ・ 都市計画道路は、単に交通機能にとどまらず、公共空間の確保や都市構造の誘導、形成など、多様な機能を通じて都市の発展に大きな役割を果たしているが、事業認可の申請時には、国の採択基準である重点化項目や費用対効果などで厳しく抑制されるため、事業の推進に支障が生じているので、事業採択の要件を緩和すべきである。
- ・ 田川市としては、工業団地に国道等が直結していない現状であるので、国道 201 号線と国道 322 バイパスを結ぶため田川直方バイパスの延伸を切望している。